

名前 王厚霖

/100

A. 次の中から最も適当なものを選んで、答えを () に書きなさい。(10x3=30)

- 田中さんは (a 集中力 / b 決断力 / c 寛容性 / d 感受性) があるので、異なる考え方を受け入れてくれる。(c)
- 姉は社交的だから、初対面の人に (a かけて / b まで / c まったく / d ごと) 積極的に自己開示をする。(b)
- 他の人は賛成しなくても、私は私 (a なりに / b ごとに / c に関して / d によって) 信念を持っている。(a)
- 彼は最近とても悲しげだ。(a あくまで / b いずれにも / c めったに / d いったい) どうしたのかなあ。(d)
- 存在証明に (a 特技 / b 確認 / c 躍起 / d 意識) になるとは、自分を認めてもらいたいと強く願うことだ。(c)
- 見出しを見れば、たいてい新聞記事の内容を (a 従がう / b 予想する / c 達する / d 並ぶ) ことができる。(b)
- メールの嫌がらせを受けた日本人学生の多くは「相手を (a 自治 / b 悪口 / c 無駄 / d 無視) する」と答えた。(d)
- 中国では、留学を希望する中学生の割合は、8割を (a 分布だ / b 率だ / c 占めた / d 支えた) らしい。(c)
- 他の人のことを考え、相手の喜ぶ事をするを (a 心配り / b 価値観 / c 対処法 / d もてる) という。(a)
- 佐藤さんに財産があるというのは (a 家柄 / b 意外 / c 平均 / d 期待) だった。彼はいつもけちだから。(b)

B. 表現や語彙をよく見て、文法と意味が正しい文を作りなさい。(9x4=36)

- 教科書の Unit 2 では 自信の表現 に関する読み物を読んだ。
- 私は 好意の忠告をした にすぎなかったが、友達は傷ついてしまった。
- 兄は一年間英語の勉強に励み、ペラペラ語る までになった。
- 私は体力に自信があるから、めったに病気になるりません。
- 彼は責任感が強いから 授業をさぼる はずがない。
- 本を読む ごとに知識豊富になってきた。
- 人にはそれぞれ 自分 なる 生き方 があるから比べられない。
- 容姿が素敵な人が こころもきれいな わけではない。
- A さんが亡くなったそうだ。いったい 何があったのだらうか。

C. 次の文を読んで質問に答えなさい。

日本、米国、中国、韓国の高校生約8千人に対して行われた青少年教育研究所の高校生国際A _____ 調査の結果によると、多数の日本の高校生が他の国の高校生に比べて「自信を持っていない」ことがわかった。調査の質問の中で、特に大きな差が表れているのが「自分はダメな人間だと思う」という項目である。この質問に「そう思う」と回答した者は日本の高校生が72.5%を占め、次いで韓国が45.3%で2位となり、日本の割合がB _____。自己に関する別の項目の質問でも同じ傾向があり、日本の高校生の半数以上は、自分の能力やレベルが他の生徒以下だと思っている、という結果が出た。

いったいどうして日本は他国に比べ、このように「自信」を持ってない高校生が多いのだろうか。この問い掛けに対してはいろいろな説明が可能だが、自然な解釈をすれば、日本の生徒は調査の中で自分の自信のなさを正直に表していると言えるだろう。一方、私自身は日本の生徒は自信なげにふるまっているC _____ という解釈をとる。この考え方によると、この調査は自信そのものではなく自信の表現を測っているということになる。(略)

また、「留学したいか」という質問に対し、日本の高校生は「したい」と答えた生徒が四カ国中最少だった。

1) 文章中の _____ に入るものとして、最も適当なものを○で囲みなさい。(3x3pts=9)

- A C : a. 教養 b. 根拠 c. 比較 d. 礼儀
- B d : a. 突出していない b. あまりにも逆だ c. 著しく低い d. ずば抜けて高い
- C b : a. はずがない b. にすぎない c. めったにない d. わけではない

2) 上の文章の内容と合っているものに○、違っているものにXを書きなさい。(5x3pts=15)

- (X) この調査は、アジアの国4カ国の高校生を対象に実施されたものである。
- (X) 自分をダメな人間だと思う生徒の数は、調査参加国の全てが過半数だった。
- (X) 自分自身を人並み以上だと評価する日本の高校生の割合は、五割に達した。
- (O) 自信に関する調査結果に対して、筆者は穿った解釈の味方についている。
- (O) 日本の高校生は、留学することに関して調査国の中で最も消極的である。

D. 1. 教科書の新聞記事によると、「社会や政治活動に参加しても無駄だ」と思う中高生の割合は、日本が他国より著しく高いです。その理由は一体何か、あなたなりに考えて説明しなさい。(5)

「自分はダメな人間だと思う」と答えた中高生の割合は、日本が他国よりずば抜けて高いです。この結果を考えると、私は日本の生徒が自分に自信を持っていないという自然な解釈をとります。それで、日本の中高生は社会や政治活動に参加する気がなくなると思います。

自信もない

2. 教科書の調査によると、日米大学生の自信スコアには、はっきりした差が出ました。この結果を考えたが、日本と米国の文化が期待するコミュニケーション・スタイルとは、それぞれどのようなものか、説明しなさい。(5)

コミュニケーション・スタイル

日本の文化では、自信がないように見せる ✓ が適切なふるまいだと考えられているので、それに従って、日本の大学生は自信があってもないようにふるまいます。一方、米国の文化では、自信があるように見せるコミュニケーション・スタイルが適切なふるまいだと考えられているので、それに即して、米国の大学生は自信がなくてもあるようにふるまいます。